

ココファン香椎駅前 スタッフのみなさま

2021年秋から2024年春までの2年半、親子ともども大変お世話になりました。

2019年に要介護認定（要介護1）を取得した時から長女の私が母の介護を続けてきましたが、腰椎圧迫骨折で入院しオムツが必要になったため（要介護4）、退院後からはプロのお力を拝借しよう!と決心したのが2021年の夏のことでした。オープン間もないココファン香椎駅前を知り、退院日が決まっていないうちから312号室をお借りしました。（契約日は忘れもしない私の51歳の誕生日でした◎）

当時の私は『老人ホーム』という漠然としたワードしか知らないレベルでしたが、その後いろいろと情報を得たり、母をケアしてくださるスタッフのみなさまのありがたみを痛感し、高齢者施設（住宅）デビューがココファン香椎駅前で本当に良かったと思っています。

失語（脳梗塞の後遺症）のため母のリクエストを理解していただくのは大変だったと思います。さらには1日おきにやって来て「あ～してほしい」「こ～してほしい」と口うるさい娘…、スタッフのみなさまにはご苦労・ご面倒をおかけして申し訳ございませんでした。

入居した当初は自室から食堂まで歩行器で、それも母一人で往復できていたことを思うと、車椅子移動になり…エプロン必須になり…母の衰えが寂しくもありましたが、私も食堂へ顔を出すようになったことでイイコトもたくさんありました。母の目の見えにくさを知ることができましたし（自前食器持ち込み・一口大対応・配膳レイアウトの工夫でクリア!）、違うフロアにお住まいの入居者さまからも労いの言葉をかけていただけるようになりました。

おひとり・おひとりが親身に丁寧に母のケアをしてくださっているのに、一括りに「スタッフさんたち」と呼称している自分にモヤモヤしていた頃と、私が母を食堂送迎するようになった時期が重なったのも功を奏しました。スタッフのみなさまが一堂に会するランチタイムは（人の顔や名前を覚えるのが苦手な私にとって）絶好のチャンスで、話しかけたり・話しかけていただいたり、スタッフのみなさまと親しくなっていました。今では全員のお名前がわかります（いなくなってしまったスタッフさんのお名前も何人かは覚えています／夜勤専任の方はわかりません、ゴメンなさい）。

いつぞやのアンケートでも書かせていただきましたが、ココファンの魅力（長所）はいくつもあります。母にとっては『満足のいく介護（ケア）』につきますでしょう。親しく接してくださるスタッフさんの顔を覚えられなかったり・お名前を呼べませんが、母なりにいつも「ありがとう」の気持ちがあつたと思います。家族（私）も、母に対するみなさまの献身的なケアに心から感謝しています。それもこれも『私がいけない時間のこと』が手に取るようにわかる「サービス実施記録」のおかげです。

就寝介助時のスタッフさんと母のやりとりを読ませていただく至福といったら！

母の笑い声が聞こえてくるような話題あり、ご機嫌ななめの母の様子とその対応に尽力されているスタッフさんの姿が目につく記載あり、いつ・どのような…がすべてわかる記録を提供していただけてとてもありがたかったです。丁寧に記録をつけてくださり本当にありがとうございました。

スタッフのみなさまの笑顔と気持ち良い挨拶、清潔な館内、ランドリーも快適に利用させていただきました。洗濯・水分補給・排便管理(マグネット)などのプラスαのリクエストにもご協力いただき、スタッフのみなさまのおかげで母にとって快適な・家族にとって安心な生活環境を維持することができました。服薬忘れなど（ココファンさんにとっては不本意な報告）もきちんと連絡してくださいましたし、申し送りも徹底されていたので、全幅の信頼を寄せて母をお任せしておりました。

まだまだ介護初心者だった私にとって忘れられない思い出があります。母の長時間外出（祖母の通夜）の時、吉永さんが「パッドを夜用のほうにしておきましょう」と機転を利かせてくださったことがありました。（家族の中で）母の介助ができるのは私だけ…施主も務めなければならない…そんなワチャワチャ状態の時に吉永さんの配慮がどれだけありがたかったことか。非日常の場面でも、「困るかもしれない」を予見し、家族の私まで心身ともにフォローしてくださいました。直接お別れのご挨拶ができないので、彼女が復帰された時に感謝の気持ちをお伝えいただけると幸いです。

私が帰る時、母はご縁がありませんでしたが看護師の方々からも「お気をつけて」とお声かけいただき嬉しかったです。お忙しいのに EV が 1F に着くのを見計らって自動ドアを解錠してくださるスタッフさんのお心遣いも実は身に染みていました。こういう細やかなココファンらしさに癒され、介護疲れをリセットしていつも帰途についていました。

所長が代替わりし、和枝さんが介護職と事務職の二刀流だと気づき、浅田くんはスーツ姿の日のほうが多くなり、美香さんや稲富くんのウェアがオレンジからネイビーになり、中田くんと水谷くんがどんどん腕を上げていく…。スタッフさんの栄転や光景をたくさん目にしてきたなあとしみじみ…。

節子姫と注文の多い娘に、長い間おつきあいいただき本当にありがとうございました。

ココファン香椎駅前前の益々のご発展と、スタッフのみなさまのご健勝・ご活躍を祈念しております。

唐島さん、看護師のみなさま、厨房スタッフのみなさまにもどうぞよろしくお伝えください。

2024 年 4 月 23 日

〈新田節子の家族〉新田 那津子